



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2018-2019年度 鯖江ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションに
なるう



2018-19年度 第2650地区スローガン

ロータリーを学び、実践し、
発信しよう;Enjoy Rotary



鯖江ロータリークラブ会長方針

和をもって貴しとする

会長 酒井 芳則

第2867回
10/19(金)

10月第3例会

点鐘:12:30

尼崎東ロータリー クラブとの交流会

例会場:鯖江商工会議所4階大ホール
懇親会:サバエ・シティーホテル

第2868回
10/26(金)

10月第4例会

点鐘:12:30

テーマ 「テレビを読み解く」

福井テレビ 代表取締役会長
卓話 光野 稔 様

第2869回
11/2(金)

11月第1例会

点鐘:12:30

テーマ 「中間選挙と来年の米国」

バーステーション
卓話 田中 良幸 様

10/19(金)

第2867回
例会報告

4つのテスト

出席率61.9%

鯖江商工会議所4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
国 歌 斉 唱
ロ - タ リ - ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



「奉仕の理想」
桑原 重之
ソング委員長
ピアノ演奏
笠原 美恵子 様

会長挨拶



酒井 芳則 会長
本日は今話題のKYB免震装置データ改ざんについてです。建物の免震装置は車のショックアブソーバーのようなものです。油圧機器メーカーKYBと子会社による免震・制振装置の検査データ改ざんは、免震装置の性能を偽っていた東洋ゴム工業に続き、国内の免震装置への信頼を大きく損いました。KYBは建物の安全に大きな支障はないとされていますが、データが改ざんされたかと疑われるものは東京都庁やスカイツリー他全国250か所に納入されています。KYBは16日の記者会見で、不正な免震・制振オイルダンパーを設置した建物を

検証し、「震度7程度の地震にも十分耐えられることを確認した」と言いましたが、国土交通省は「建築物の安全・安心に対する国民の信頼を揺るがす行為」として、同社の品質管理態勢を厳しく監視する方針だとしていますが罰則はないみたいです。

今回の問題では、「基準値からのずれは特に免震用で大きく、ダンパーの動きが基準より硬くなっていた。地下にある免震ゴムは変形することで揺れを吸収し、上部の建物に地震の揺れを伝えないようにする役割がある。ダンパーは免震ゴムの動きを調整しており、硬すぎると免震ゴムの変形は抑えられる半面、上部が揺れやすくなる。(ダンパーの動きが硬いと)足元で急ブレーキがかかったようになり、高層建築物になるほど揺れやすくなる。耐震性能については「免震ゴムや数種類のダンパーなどを組み合わせている建物が多いので、大きな影響はないとは言われるが、免震装置を巡っては、東洋ゴムによる免震ゴムのデータ改ざんは、基準に適合する製品を作る能力が欠けていたことを隠すために改ざんしていた。」今回は品質管理の問題で免震・制振オイルダンパーで国内トップシェアのKYBで不正が出ていました、昨秋以降発覚した日本のものづくり企業の背景には、コンプライアンス(法令順守)への低い意識、現場任せの品質管理、納期主義といった共通の問題が横たわっています。

品質不正は、東洋ゴム工業の免震偽装、旭化成子会社のくい打ちデータ改ざん、神戸製鋼所や三菱マテリアル、東レ、日産自動車、スバルなど日本を代表する製造業で続出しています。「安全性への過信が不正の裏側にある」と言われます。ものづくりの原点である『品質第一』の発想を品質管理組織体制を変えない限り、信頼を取り戻すのは難しそうです。

ニコニコ箱発表

尼崎東ロータリークラブの皆様

尼崎東RCの皆様ようこそおめでとうございます。どうぞよろしく願いいたします

酒井 芳則 会員

尼崎東RCの皆様をお迎えて 父葬の葬儀の際はありがとうございました。

牧野 友美 会員

尼崎東RCの皆様をお迎えて、西川会長他5名の皆様ようこそお越しくださいました

増永 英彦 会員

尼崎東RCの皆様をお迎えて、また久しぶりの例会です。申し訳ないです

田村 康夫 会員

ようこそ眼鏡の町へ

幸道 森市 会員

尼崎東RCの皆様をお迎えて

大島 恒彦 会員

梅吉 吉臣 会員

岩尾 顕治 会員

小部 隆充 会員

堀江 邦旺 会員

黒田 敏夫 会員

桑原 重之 会員

大橋 良史 会員

深見 泰和 会員

窪田 健一 会員

野呂 和夫 会員

岡本 圭子 会員

岡本 孝久 会員

清水 康弘 会員

笠原 昌示 会員

吉田 俊博 会員



深見 泰和
ニコニコ副委員長

「尼崎東ロータリークラブの皆様、ようこそいらっしゃいました。」ということで、たくさんの皆さんから頂いております。ありがとうございました。

幹事報告

牧野 友美 幹事



例会終了後、尼崎東ロータリークラブの皆さんと30分程の懇談会を2階役員室にて開催いたします。その後、近松の里とめがね

会館、時間に余裕があれば、うるしの里会館もご案内したいと思います。その後、午後6時からサバエ・シティーホテルにて懇親会を開催いたします。

* 尼崎東ロータリークラブご一行様のご紹介 *

尼崎東ロータリークラブ会長:西川一正 様 会長エレクト:森本吉秋 様 幹事:勇正一郎 様
副幹事:三田恭男 様 奉仕プロジェクト常任委員長:小野康三 様 国際奉仕委員長:小畑充生 様



尼崎東ロータリークラブ会長 西川 一正 様

鯖江ロータリークラブの皆様、初めまして!。

尼崎東ロータリークラブ、今年度会長を仰せつかっております。西川一正と言います。宜しく御願いたします。

まずご挨拶申し上げる前に、先般の台風21号被害に対し心温まるお見舞い、そして多額のお見舞いを頂戴いたしましたこと、尼崎東RCを代表して、鯖江ロータリークラブの皆様にご心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

今回の台風は、25年ぶりの大型台風だと騒がれ、しかも上陸地点が神戸市ということで、当クラブは上陸地点の東側、尼崎に所在します関係上、会員の家屋、仕事場も尼崎市・尼崎浜に多くありましたので物的被害を被った会員は結構おられました。人的被害を受けた会員が殆どおられなかったのは不幸中の幸いでした。

今回はまず「台風の目の東側は危ない」ということを身をもって経験しました。関西空港で最大瞬間風速が58.1mと発表されておりますから、圍繞地やビルの谷間では更に大きな風速が考えられ、それによる屋根の損傷が多く見られました。建築関係の方ならご存じですが、住宅設計などは、最大瞬間風速が60mと定められておりますから、ひよっとすればこの値も今後見直しの対象になるかも知れません。

公表値ではありませんが、瞬間最大風速が82mを記録した甲子園球場の浜のゴルフ練習場もありました。

また関西空港に見られるように、大阪湾沿岸の京阪神地区は、物流・工場・倉庫・マンモス住戸団地などを含む人口島が結構ありますので、それに対する「台風による高潮の影響」による被害つまり「冠水被害」が多く見られました。

第2室戸台風(1961年)を教訓として造られた防潮堤ではありましたが、今回は大阪湾潮位が329cmと過去最高を記録したため、関西空港を初めとして、東から尼崎・西宮・神戸と軒並み大きな物的被害を被ったのが特徴的かも知れません。

このような被害の中でしたが、皆様の励ましの気持ちをいただいて、当クラブの多くの会員も漸く元気になってきておりますので、ご心配おかけいたしました。どうぞご安心下さい。

このような騒ぎの中、当初訪問させていただく予定からも1ヶ月経ちました。姉妹クラブ締結にお見えいただいたのが6月20日ですから、もう4ヶ月。早いものです。訪問いただいた日は、貴クラブにおかれましては、夕方にも行事が予定されていたと聞き及びました。

ご多忙の中、田村直々前会長様、大島前会長様、酒井会長様始め9名の皆様にお越しいただきましたこと改めてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

今日、訪問させていただいた尼崎東RCのメンバーを改めて紹介させていただきます。

森本今年度会長、小野奉仕プロジェクト委員長、小畑国際兼友好クラブ委

員長、勇幹事、そして三田次年度幹事と私の6名です。お手柔らかにお願い致します。

当地を訪問させていただいたのは、クラブとしては、2016年10月に、鯖江北ロータリークラブさんとの姉妹クラブ締結の時でしたから、それでも、もう2年になります。本当に月日の経つのは早いものですね。

私自身は、2012年11月にお邪魔して以来ですから、本当にしばらくぶりです。その節は、旧鯖江北ロータリークラブの皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。

江戸時代前期に生きた浄瑠璃・歌舞伎劇作家・近松門左衛門の生誕の地・鯖江と生涯の終焉の地・尼崎を縁として、鯖江北ロータリークラブとの姉妹クラブ締結30年余り、そして引き続いて、今新しく鯖江ロータリークラブとの姉妹クラブ締結が出来ましたこと、近松門左衛門という大文学者を縁として、絆を結ぶことが出来たこと、本当に感慨深いものがあります。

ここで少し私どものクラブを少し紹介させていただきたいと思っております。私達尼崎東RCは今年で45年目を迎えます。60年余りの鯖江ロータリークラブに比べればまだまだ若輩のクラブと言うことにはなりますが、目下在籍メンバーは45名。一時期67名のメンバーがいたことから思えば寂しいものがありますが、なんとしても今年は3-5名程度は勧誘したいと頑張っているところです。目指すところは50周年、50名以上というところですよ。

今年度当クラブの活動方針として「変化から継続へ」という言葉を掲げさせて貰っております。

つまり国際ロータリーが、予めから提唱しております「クラブ活性化」を目指した「CLP体制」を、45年を節目に今年から取り入れ、スタートしたところで

CLP検討委員会をスタートさせたのが、昨年5月でした。スタートしたものの「CLP」のイメージがなかなか掴みにくく、「クラブ活性化」を謳うなら、「Club Active Plan」の方がわかりやすいということで、内々では、委員会の後半は「CAP委員会」として半年、12月に体制作りを終えたという経緯です。

「公共イメージアップ」、理解できたようで、理解できていないような気もするし、まだまだ学習を続けなければならないと考えております。

このように歩き出したばかりの私達の新組織編成ですので、先輩格の鯖江ロータリークラブさんのお知恵をお借りすることが多々あるかと思いますが、その時は是非宜しくご教示等御願致します。

当クラブは今申し上げた状況ですので、今後鯖江ロータリークラブとの交流の進め方に付きましても、鯖江ロータリークラブのお考えも頂戴しながら逐次進めてゆきたいと考えております。

最後になりましたが、本日訪問させていただいた事で両クラブの姉妹クラブ提携がスタートしたと考えます。

新しい姉妹クラブとして、今後一層鯖江ロータリークラブとの間で、親睦と交流を深め、ロータリークラブの発展に寄与できるような関係が長く続けられることを心より願って御挨拶いたします。 ありがとうございます。



例会場:鯖江商工会議所4階大ホール



懇談会:鯖江商工会議所2階役員室



懇親会:サバエ・シティーホテル